

PortableLogger

Ver 1.0

取扱い説明書



はじめに

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、まことにありがとうございました。

本製品は競技での使用を目的に開発されたものです。

一般公道での使用はできません。

お客様、又は第三者が本製品及び付属品を使用したことにより受けた

損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品の取付けには、車両の内外装、及び電装系の取外し、加工等の

作業が伴います。当社はこれらの作業による損害の責任を負いかねます。

慎重に作業してください。

本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。

海外では使用しないでください。

PortableLogger

本製品はHKS社から販売されているF-CON Vproシリーズに接続して本体ログの代わりに各種データの記録をする製品です。

Vproシリーズは内部に本体ログ用として256Kbitが専用スペースとして用意されており8項目を0.1秒周期で記録しますと256Kbitでは3分24秒間の記録が可能です。

本製品には2Mbitの記憶領域を持たせてありますので本体ログに比べ8倍のロギング時間が可能となります。

Standard (1Mbit) (ロギング時間 0.1秒周期 = 13分36秒 0.2秒周期 = 27分12秒)

Personal (2Mbit) (ロギング時間 0.1秒周期 = 27分12秒 0.2秒周期 = 54分24秒)

カプラーオン設計

V-Pro 通信線の6ピンモジュージャックに接続するだけで各種データの収集を行えます。

V-pro 本体に特別な設定は不要ですので必要に応じて即、データの記録が行えます。

本製品の電源も6ピンモジュージャックから供給しますので電源の接続も必要ありません。

豊富なログ項目

本体ログにはないA/F2などの項目も記録可能。

持ち出し可能 (ポータブル)

本製品を車両から持ち出しパソコンとUSB接続しますと

電源をUSBから供給し通信可能となりますのでピット作業などの邪魔になりません。

もちろん、本体電源が供給されない状態でも内部メモリー内容が消えることもありません。

PortableLogger Standard HKS パワーライター店専用

本体メモリー 1Mbit バージョン

付属 LogMaster ソフトにてサンプリング項目、サンプリング周期の設定が可能。

！付属ソフトではログデータの解析はできません。解析はパワーライターソフトのみで可能です。

PortableLogger Personal プロショップ、ユーザー様兼用 フル機能

本体メモリー 2Mbit バージョン

付属 LogMaster ソフトにてログデータのグラフ、メーター、ダンプなど高度な解析、

ログデータのプレイバック機能搭載。

サンプリング項目、サンプリング周期の設定が可能。

LogMaster PortableLogger [Standard・Personal]とともに標準で添付

PortableLogger 本体の設定

ログデータの検証用 パソコンソフト

対応 OS

Windows 2000 Service Pack3 以降 / Windows XP Service Pack2 / Windows Vista

付属 CD ロムをパソコンにセットし CD ロムの内容を表示します。
setup.exe をクリックして LogMaster のインストールを開始します。

画面に従いインストールが終了しましたら

LogMaster をインストールしたフォルダをマイコンピューターなどのエクスプローラーで開いてください。
下記で使用する USB ドライバーの場所が確認できましたら USB ドライバーをインストールします。

USB 接続ドライバー インストール

PortableLogger とパソコンを USB ケーブルにて接続します。

自動でドライバーのインストールが始まりますので上記で確認したフォルダを開き

OS に合わせたファイル(Vista [PortableLogger_Vista.inf])

(XP/2000 [PortableLogger_NTXP.inf])を指定してドライバーをインストールしてください。

以下は Standard バージョン及び HKS パワーライターをお持ちの方のみ行ってください。

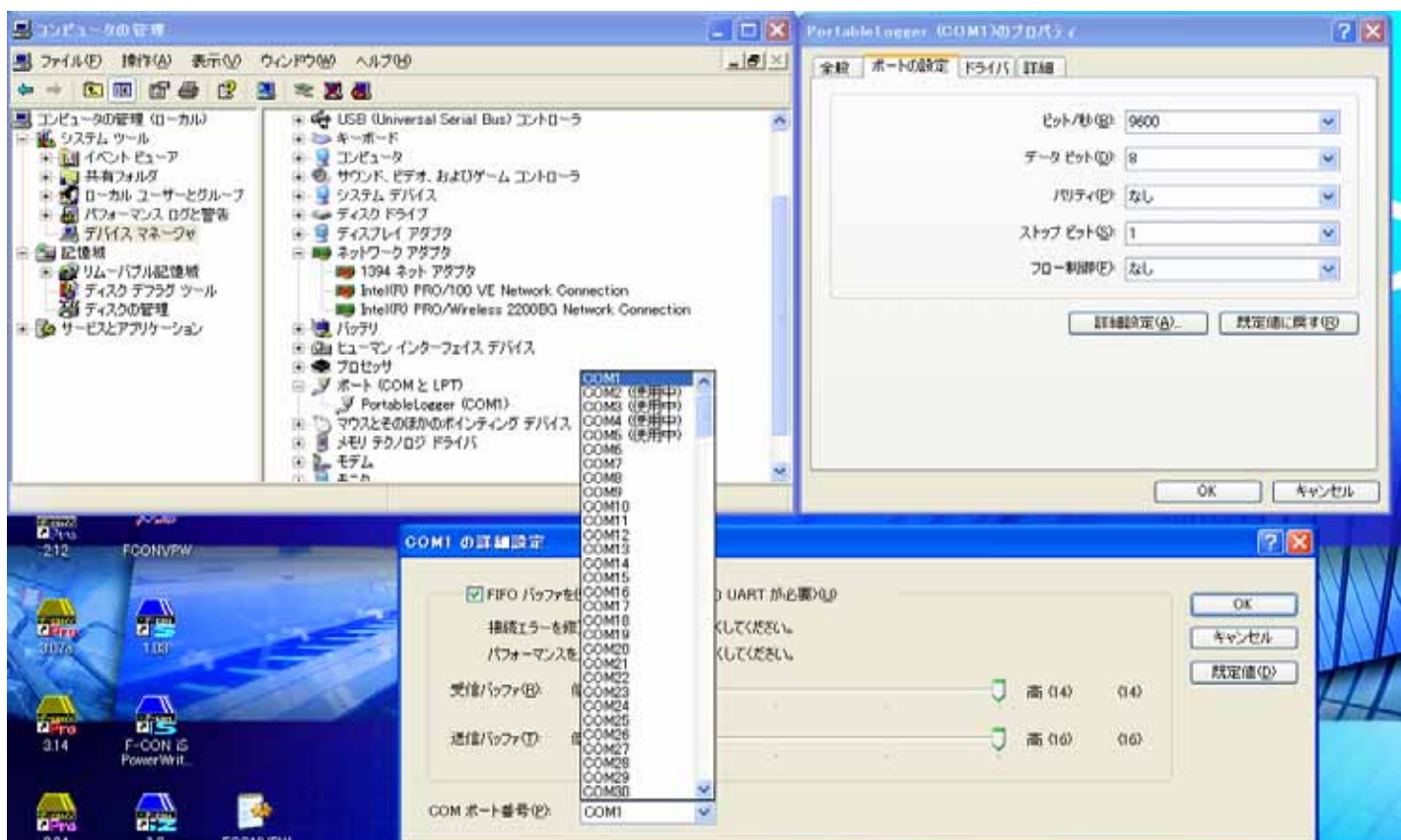
パワーライターソフトにて PortableLogger のデータを読み出せるようにするための設定です。

PortableLogger とパソコンを USB ケーブルで接続した状態で

[スタート] [マイコンピューター(右クリック)] [コンピューターの管理]

[デバイスマネージャー] [ポート(COMとLPT)]を開き

[PortableLogger]が認識されている事を確認してください。



認識されていない、[!マーク]などが表示されていたらドライバーをアンインストールして認識させてください。

無事、認識されましたら[デバイスマネージャー]から[PortableLogger]を右クリックして[プロパティ]を表示します。
[プロパティ]の[ポートの設定]を開き[詳細設定]をクリックして[COM#の詳細設定]を開きます。
[COM#の詳細設定]ダイアログにある[COMポート番号]を他のデバイスに競合しないよう COM1～COM4の間で設定します。

説明！ パワーライターの V3.0&V3.1 では COM ポートが COM4 までしか設定できませんので必ず COM ポート番号を COM1～COM4 の間で設定を行ってください。

COM ポート、通信ボーレート設定

PortableLogger の通信ボーレートは「56000」です。

V-Pro 本体のディップスイッチ[6番]を ON にして[56000]を選択してください。

パワーライターの[オプション] - [ボーレートの設定]で[56000]を選択してください。

パワーライターの[オプション] - [COMポートの設定]で

上記デバイスマネージャーにて設定した COM ポート番号を選択してください。

以上でパソコン、パワーライターソフト、V-Pro 本体設定の完了です。

PortableLogger 各部名称



前面

USB ケーブル接続ポート (USB - B タイプケーブルは別途ご用意ください)

状態表示 LED ログ中ではブルーに、エラー時はレッドに点灯します。

各種操作スイッチ

インジケータ LED

1 番左はパワーオンにて常時点灯。 2 ~ 10 個目はメモリー残量を表示します。



背面

V p r o 接続用 モジュラージャック

付属のハーネスで V-Pro の通信ケーブル (グレー) に接続してください。



内部

外部スイッチ接続ピン

本体操作スイッチの代わりに外部スイッチを取り付ける場合はこのピンに接続してください。

PortableLogger 操作説明

V-pro 本体の設定は一切必要ありません。

V-Pro 本体のディップスイッチ「6番」をONにして「56000」を選択してください。

記録の開始

操作スイッチを短く押すことにより V-Pro と通信を開始します。

通信が確立し、データの記録を正常に開始すると状態表示 LED がブルーに点灯し、インジケータLED がメモリー残量により増灯します。

注意！ メモリーがフルになりますと一番右の LED が点灯しロギングを終了します。

記録の停止

操作スイッチを短く押すことにより記録を停止し、状態表示 LED が消灯します。

通信エラー

通信エラー時には状態表示 LED がレッドに点等します。

V-Pro バージョン、Vpro 本体の通信ポーレートを確認してください。

EEPROM メモリークリア

操作スイッチを3秒間長押しすることによりメモリークリア確認となり記録部分のLEDが5秒間点滅します。

LEDが点滅中(5秒間)にもう一度スイッチを押すとメモリークリアを開始します。(LEDは全部点灯)

メモリークリアが完了しますとLEDが全部消灯後、POWER-LEDのみが点灯します。

PortableLogger 本体設定

PortableLogger Standard バージョン PortableLogger Personal バージョン 共通

本体設定

シリアル番号 | Vproモード VPRO_V31 | 記録可能時間 0時間27分12秒

バージョン 1.0 | 記録間隔 100 [msec.] | 記録数 0

種類 Personal

チャンネル1	チャンネル3	チャンネル4	チャンネル5	チャンネル6	チャンネル7	チャンネル8
<input checked="" type="radio"/> 回転数	<input checked="" type="radio"/> 燃料	<input checked="" type="radio"/> 点火				
<input type="radio"/> エアフロ	<input type="radio"/> エアフロ	<input type="radio"/> エアフロ	<input type="radio"/> エアフロ	<input type="radio"/> エアフロ	<input type="radio"/> エアフロ	<input type="radio"/> エアフロ
<input type="radio"/> スロットル	<input type="radio"/> スロットル	<input type="radio"/> スロットル	<input type="radio"/> スロットル	<input type="radio"/> スロットル	<input type="radio"/> スロットル	<input type="radio"/> スロットル
<input type="radio"/> A/F	<input type="radio"/> A/F	<input type="radio"/> A/F	<input type="radio"/> A/F	<input checked="" type="radio"/> A/F	<input type="radio"/> A/F	<input type="radio"/> A/F
<input type="radio"/> 排気温	<input type="radio"/> 排気温	<input type="radio"/> 排気温	<input type="radio"/> 排気温	<input type="radio"/> 排気温	<input type="radio"/> 排気温	<input type="radio"/> 排気温
<input type="radio"/> 燃圧	<input type="radio"/> 燃圧	<input type="radio"/> 燃圧	<input type="radio"/> 燃圧	<input type="radio"/> 燃圧	<input type="radio"/> 燃圧	<input type="radio"/> 燃圧
<input type="radio"/> 車速	<input type="radio"/> 車速	<input type="radio"/> 車速	<input type="radio"/> 車速	<input type="radio"/> 車速	<input checked="" type="radio"/> 車速	<input type="radio"/> 車速
<input type="radio"/> 吸気温	<input type="radio"/> 吸気温	<input type="radio"/> 吸気温	<input type="radio"/> 吸気温	<input type="radio"/> 吸気温	<input type="radio"/> 吸気温	<input type="radio"/> 吸気温
<input type="radio"/> 水温	<input type="radio"/> 水温	<input type="radio"/> 水温	<input type="radio"/> 水温	<input type="radio"/> 水温	<input type="radio"/> 水温	<input checked="" type="radio"/> 水温
<input type="radio"/> 油温	<input type="radio"/> 油温	<input type="radio"/> 油温	<input type="radio"/> 油温	<input type="radio"/> 油温	<input type="radio"/> 油温	<input type="radio"/> 油温
<input type="radio"/> 油圧	<input type="radio"/> 油圧	<input type="radio"/> 油圧	<input type="radio"/> 油圧	<input type="radio"/> 油圧	<input type="radio"/> 油圧	<input type="radio"/> 油圧
<input type="radio"/> ノックレベル	<input type="radio"/> ノックレベル	<input type="radio"/> ノックレベル	<input type="radio"/> ノックレベル	<input type="radio"/> ノックレベル	<input type="radio"/> ノックレベル	<input type="radio"/> ノックレベル
<input type="radio"/> 電源電圧	<input type="radio"/> 電源電圧	<input type="radio"/> 電源電圧	<input type="radio"/> 電源電圧	<input type="radio"/> 電源電圧	<input type="radio"/> 電源電圧	<input type="radio"/> 電源電圧
<input type="radio"/> スwitch入力	<input type="radio"/> スwitch入力	<input type="radio"/> スwitch入力	<input type="radio"/> スwitch入力	<input type="radio"/> スwitch入力	<input type="radio"/> スwitch入力	<input type="radio"/> スwitch入力
<input type="radio"/> A/F2	<input type="radio"/> A/F2	<input type="radio"/> A/F2	<input type="radio"/> A/F2	<input type="radio"/> A/F2	<input type="radio"/> A/F2	<input type="radio"/> A/F2

データ消去 設定 開じる

Vpro 本体のバージョン設定、サンプリング周期、チャンネルごとのログ採取項目の設定を行います。

! PortableLogger にデータが残っている場合は本体設定ができません。

データ消去ボタンを押して本体のデータを全てクリアする必要があります。

ログデータ解析

PortableLogger Standard バージョン HKS パワーライター専用

パワーライターにて本体ログを吸い出しグラフを表示します。

パワーライターの仕様の関係で本体ログは 2 5 6 Kbit 以上読み込めないようになっていますので記録数が 2 5 6 Kbit を超えて記録されている場合は

自動で 4 倍の圧縮率にてパワーライターに転送します。(上図グラフ)

2 5 6 Kbit 未満の場合は無圧縮で転送します。(下図グラフ)

注意！ 圧縮転送された場合のログ時間、経過時間も 4 倍で圧縮されますので時間に直したい場合は数値を 4 倍に計算し、正規時間に換算する必要があります。

Personal バージョンにて 1 Mbit 以上の記録がしてあっても

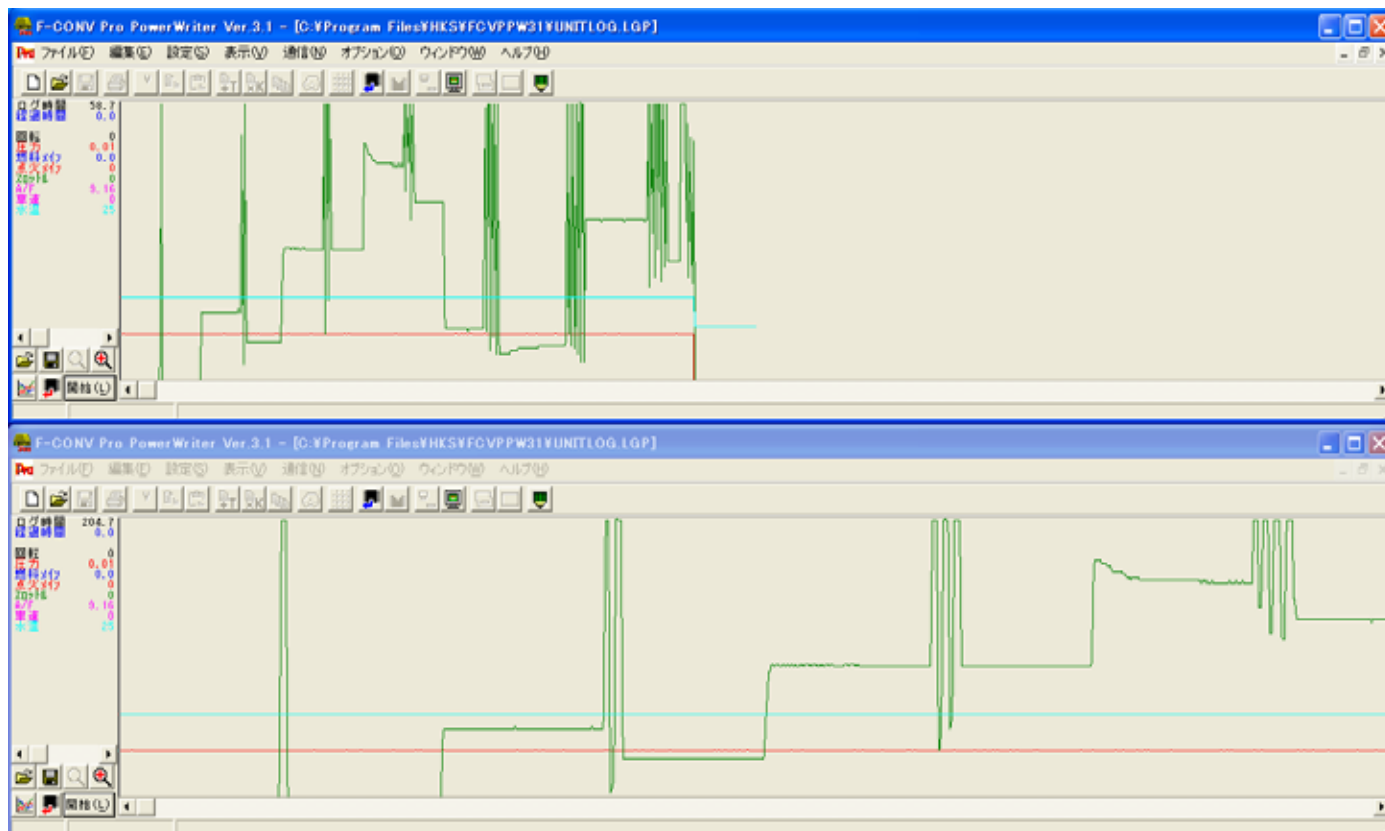
HKS パワーライターで読み出せるのは最初の 1 Mbit までしか転送できません。

記録数が 2 5 6 Kbit を超えている場合は、PortableLogger の操作スイッチがカーソル選択モードになります。

操作スイッチを押すことによりインジケータ LED が点滅を開始しますので

読み込みを行いたい部分に操作スイッチを押して点滅箇所を移動しパワーライターにて

本体ログを吸い出すと点滅部分を圧縮なしの状態転送します。(下図グラフ)



圧縮、インジケータLED について

インジケータLED の 1 目盛りは 1 2 8 Kbit です。

操作スイッチを 1 回押すことにより点滅部分が 1 2 8 Kbit 移動します。

パワーライターへの送信は 2 5 6 Kbit を送信しますので重なり部分の表示を行えます。

1 番左はパワーオン、1 番右の LED はメモリーフルの状態を表示しますので

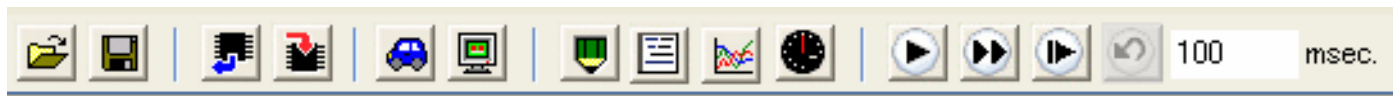
中央の 8 個で記録領域を表示しています。

(1 0 2 4 Kbit ÷ 1 2 8 Kbit = 8 目盛り)

ログデータ解析

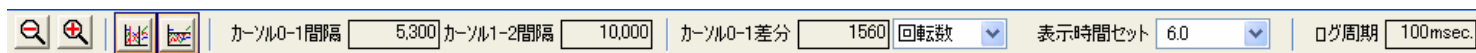
LogMaster PortableLogger Personal バージョン プロシヨップ、ユーザー様兼用

メイン画面 アイコン説明



- PCにあるログファイルを開く。
- ログデータに名前を付けて保存。
- PortableLogger からログデータの吸出し。
- PortableLogger にログデータを転送します。
- (LogMaster にて保存したログデータを HKS ソフトにて読み込みしたい場合、PortableLogger にログデータを転送し HKS ソフトにて読み出しが可能です。)
- PortableLogger 本体設定 (記録周期・記録項目の設定・本体バージョンの確認)
- パラメータ表示 (PortableLogger 本体のバージョン・ID などの表示)
- グラフ設定 (ロググラフ表示の最小、最大、色など各種設定)
- ログデータ 表形式表示
- ログデータ グラフ表示
- ログデータ メーター形式表示
- プレイバック機能 再生 or ストップ
- 早送り 押す度に再生速度を早くできます。(最高再生速度は 50msec)
- スロー再生 押す度に再生速度を遅くできます。
- リプレイ 最後にプレイボタンを押した条件にて再生を開始します。
- 再生速度 初期値はサンプリング周期になっています。(ダイレクト入力可能)

グラフ画面 アイコン、操作説明



- 画面左を基準にしてグラフ縮小。
- 画面左を基準にしてグラフ拡大。
- カーソル1 とカーソル2 の間にあるデータの最小、最大値の表示の有無の切替。
- カーソル Y 軸の表示の有無の切替。
- カーソル0 ポイントとカーソル1 ポイント差分表示の項目切替、及び、カーソル Y 軸の表示が選択されている場合のデータ項目の切替。
- カーソル0 ポイントを基準に画面いっぱいに希望の時間に拡大、縮小。

その他、操作

- マウスが PC に接続されている場合は拡大、縮小したいポイント上でマウスホイールにて拡大、縮小ができます。
- 又、マウスホイールを押した状態ですとスクロールができます。

プレイバック機能



- カーソル0 プレイバック開始ポイント
- カーソル1 ロググラフ・メーター同期ポイント (マウス左クリック)
- カーソル2 ストップポイント (マウス右クリック)

ロググラフ再生を開始したいポイントで左クリックしてカーソル1を表示し同期開始ポイントを指定します。
再生をストップさせるポイントで右クリックしてカーソル2を表示させストップポイントを指定します。
メーター動作を開始したいポイントにカーソル0を移動し再生ボタンを押します。
* マウスの位置関係は必ず上記の絵と同じ位置関係に設定してください。

カーソル0ポイントからカーソル1ポイントの間はメーターのみが再生され
カーソル0がカーソル1のポイントに達した時からロググラフのスクロールが開始します。
カーソル1がカーソル2のポイントに達した時にストップされます。

! スクロールバーが右いっぱいになると (プレイ中は見えません) カーソル1がカーソル2のポイントにまで達していなくてもストップされます。

MECHANICAL CONSTRUCTORS TARGET

〒470-0124 愛知県日進市浅田町平子39-4

ターゲット

TEL052-800-3020

FAX052-800-3019

<http://target-r.com>

2008年02月01日

Ver.1.0